

## 新駅舎が華やかにオープン 後三年駅舎オープニングセレモニー

JR後三年駅舎の建て替え工事の完了に伴い、12月24日にオープニングセレモニーが行われました。建て替え工事は平成25年秋の秋田デスティネーションキャンペーンを見据えた誘客を図ろうと、町とJR東日本秋田支社が実施したものです。セレモニーでは、松田町長が「新駅舎が町の観光を後押しする拠点に成長してほしい」と述べると、JR東日本秋田支社の浅見郁樹支社長は「歴史を町づくりに生かそうとしている美郷町とこれからもともに歩んでいきたい」とあいさつしました。その後は、関係者らによるテープカット、武将隊「清原紅蓮隊」によるパフォーマンスや菖蒲太鼓保存会による演奏、餅つきなどが行われ、新駅舎の完成を祝いました。



## 今年一年の心技体の充実を誓いました 美郷町相撲連盟 初稽古

1月1日に美郷中学校相撲道場で美郷町相撲連盟（伊藤福草会長）が主催する新年初稽古が行われ、会員や町内の小中高生など約40名が参加しました。初稽古の開催にあたり、伊藤会長は「昨年も小中高生が素晴らしい活躍を見せてくれた。今年も練習に励み、引き続き活躍されることを期待している」と激励の言葉を述べました。ぶつかり稽古や四股踏み、すり足などの基本稽古で体を温めた後は、本番さながらの取組を開始。小中学生が先輩力士の胸を借りる場面もあり、力いっぱいぶつかり合う音が道場内に響き渡りました。



## みんなで楽しく汗を流しました バドミントンスペシャル講習会

1月19日に美郷総合体育館リリオスでバドミントンスペシャル講習会が開催され、小学生から一般まで約60名が参加しました。講習会は、年齢や技術レベルに関係なく、多くの方にスポーツに親しんでもらうことを目的に美郷町総合型スポーツクラブ等が主催しています。今回、講師を務めたのは北都銀行バドミントン部の皆さん。日頃行っている練習方法を参加者と一緒に実践し、体の使い方など、上手くなるコツを丁寧にアドバイスしていました。講習会の最後には、美郷中学校バドミントン部の大瀧耀平さんが「今回教えていただいたことを糧にして、これからも練習を頑張ります」と感謝の言葉を述べました。



## 歌い継いで4半世紀 雁の里コーラス25周年記念コンサート

1月19日に美郷町公民館で雁の里コーラス（中村裕子代表）の25周年記念コンサートが開催されました。雁の里コーラスは会の発足時から地域のイベントや学校行事などに積極的に参加し、歌声を届けてくれています。コンサートでは、「君をのせて」や「夢の世界」などの歌い継がれてきた思い出の曲のほか、童話の読み聞かせと合唱、バルーンアートなどを合わせた「ゼロ弾きのゴージュ」などを披露。最後には町民歌を会場全体で大合唱するなど、多彩なメロディや演出に、会場を訪れた約350名の観客は歌の世界を楽しんでいる様子でした。



## 長寿祝い金を贈呈 大正2年生まれの大坂トシ子さんが満100歳に

1月20日に満100歳の誕生日を迎えた大坂トシ子さんのもとを松田町長が訪れ、長寿祝い金を贈呈しました。松田町長から長寿の秘訣を尋ねられた大坂さんは「特別何もない。何でも食べることが大事」と答え、松田町長が「何も気にせず生きることが一番いいということですね」と言う。「そうそう」と笑顔で返していました。引き続き「祝 百寿」と書かれた書と大坂さんの誕生日に発行された新聞の写しがプレゼントされると、お祝いに駆け付けた親族や入所者から大きな拍手が送られました。大坂さんは買い物や食事に出かけることを何よりの楽しみにしており、出かける際はご自分で歩いていかれるとのこと。これからもお体に気を付けて、ご長寿を重ねてください。



## 子どもたちが育つ「理想の環境」と紹介 美郷大使 永田萌さんが美郷町をPR

美郷大使の永田萌さんが兵庫県の広報番組に出演し、美郷町を広く発信しました。この広報番組は井戸敏三兵庫県知事が各界の第一人者と対談を行うもので、今回は芸術文化や体験教育が子どもたちの健やかな成長に果たす役割について語り合いました。対談では、優れた絵本が子どもに与える影響や兵庫県が力を入れている「体験教育」の大切さなど、教育全般について広く意見交換が行われ、その中で「（美郷町は）お水が本当においしく、どの季節に行っても花の色がみずみずしくて美しい。子どもたちは必ずあいさつをしてくれ、理想の環境で育っているな」といつも思います」と永田さんから紹介していただきました。井戸知事は「子どもたちにふるさとを愛する意識を持ってもらいたい。そんな兵庫県人を育てたい」と受け、それぞれ今後の抱負を述べて対談を閉じました。対談内容は兵庫県のホームページで閲覧できます。



▲(写真左から)永田萌さん、井戸敏三兵庫県知事  
(写真提供:兵庫県広報課)

兵庫県HP : [http://web.pref.hyogo.lg.jp/kk03/dayori\\_1301.html](http://web.pref.hyogo.lg.jp/kk03/dayori_1301.html)

## 縁<sup>えん</sup>と展開

美郷町長 松田知己

# 風



美郷町芸術文化賞授与式であいさつを述べる松田町長

「すかーつと満点パパ」。このセリフ、みなさんはご存じでしょうか。「懐かしいなあ」というあなた、きつとあなたもお世話になったのでは。今は亡き「てんぷくトリオ」の三波伸介さんが、随分前に出演していた胃腸薬のCMです。この薬は現在も発売されており、私は自宅に常備しています。幸いこの1月はお世話にならず、妻の小言もありませんでした・・・。

この胃腸薬、私には二日酔い

の特効薬です。飲んでしばらくすると確かに「すかーつ」となります。現在のCMは市川猿之助さんですので、何という薬か知りたい方は調べてみて下さい。なぜこも効くのか薬剤師でないのでも分かりませんが、私は「生薬のおかげに違いない」と勝手に思い込んでいます。

さてその生薬、大半が輸入品と言われています。しかし最近輸入しづらくなってきたとのこと。つまり国内生産しない限り、いつか生薬配合薬が高騰するか飲めなくなる可能性があるということなんです。二日酔い程度だったら我慢できますが、これが治療に使う漢方薬となれば大変な話になります。

そのため、最近国内で生薬栽培に取り組む事例が出てまいりました。そこで美郷町もこの

度、社団法人東京生薬協会という組織と協定を結び、生薬栽培に挑戦する運びになりました。まずは山間部の町有地で試験栽培に取り組みます。栽培見通しを持って自ら自己保全管理田などで展開してもらい、農業振興をめぐりたい考えです。また、生薬には樹木もありますので、林業振興や水源涵養の観点も踏まえ、秋田杉以外での山林活用を検討してまいります。その第一歩として閉校後の千畑南小学校グラウンドは公園化し、既存の桜に加え、薬用樹木も植栽した公園兼見本園に整備したいと考えております。

ちなみに、東京生薬協会会長は株式会社龍角散の社長です。その龍角散、秋田藩の秘薬だった事実をご存じでしょうか。そして創業者の先祖は、なんと美郷町六郷の出身とのこと。こんな縁、滅多にありませんよ。そこでこの度は、株式会社龍角散とも地域活性化の協定を結ぶことにしました。こうした縁、今後大切にしながら新たな展開につなげていきたいと思っております。